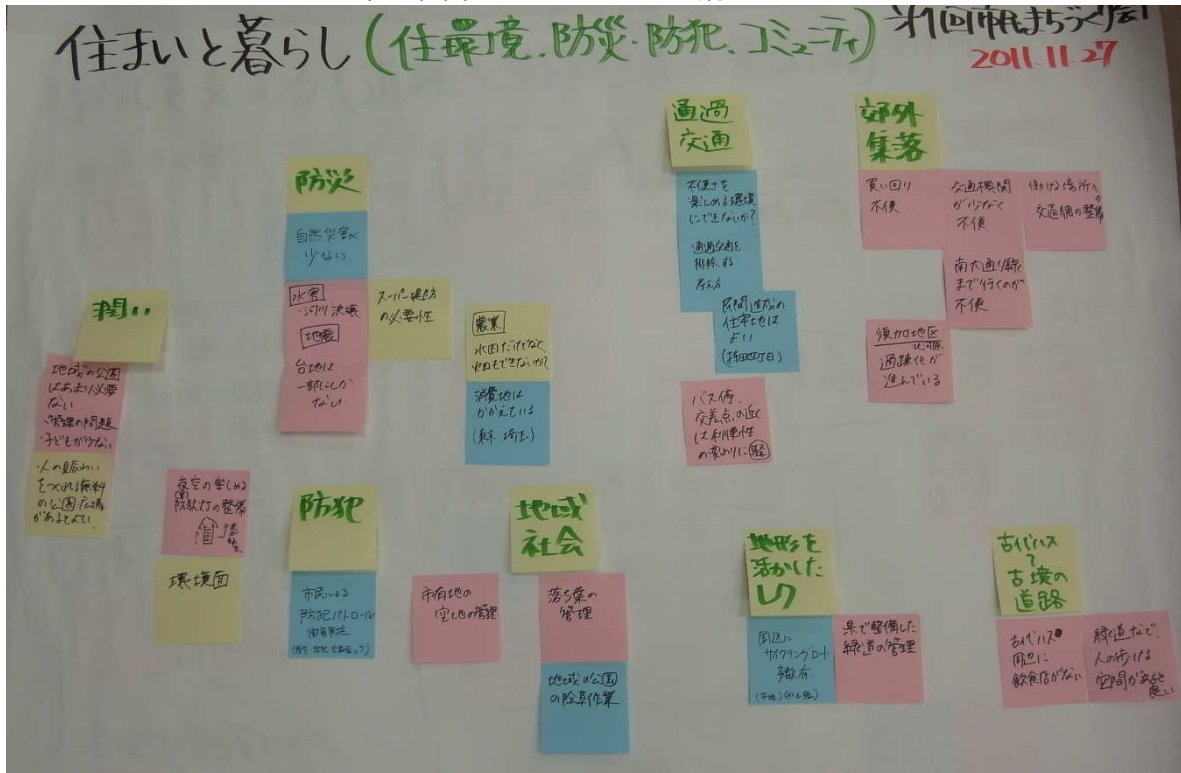


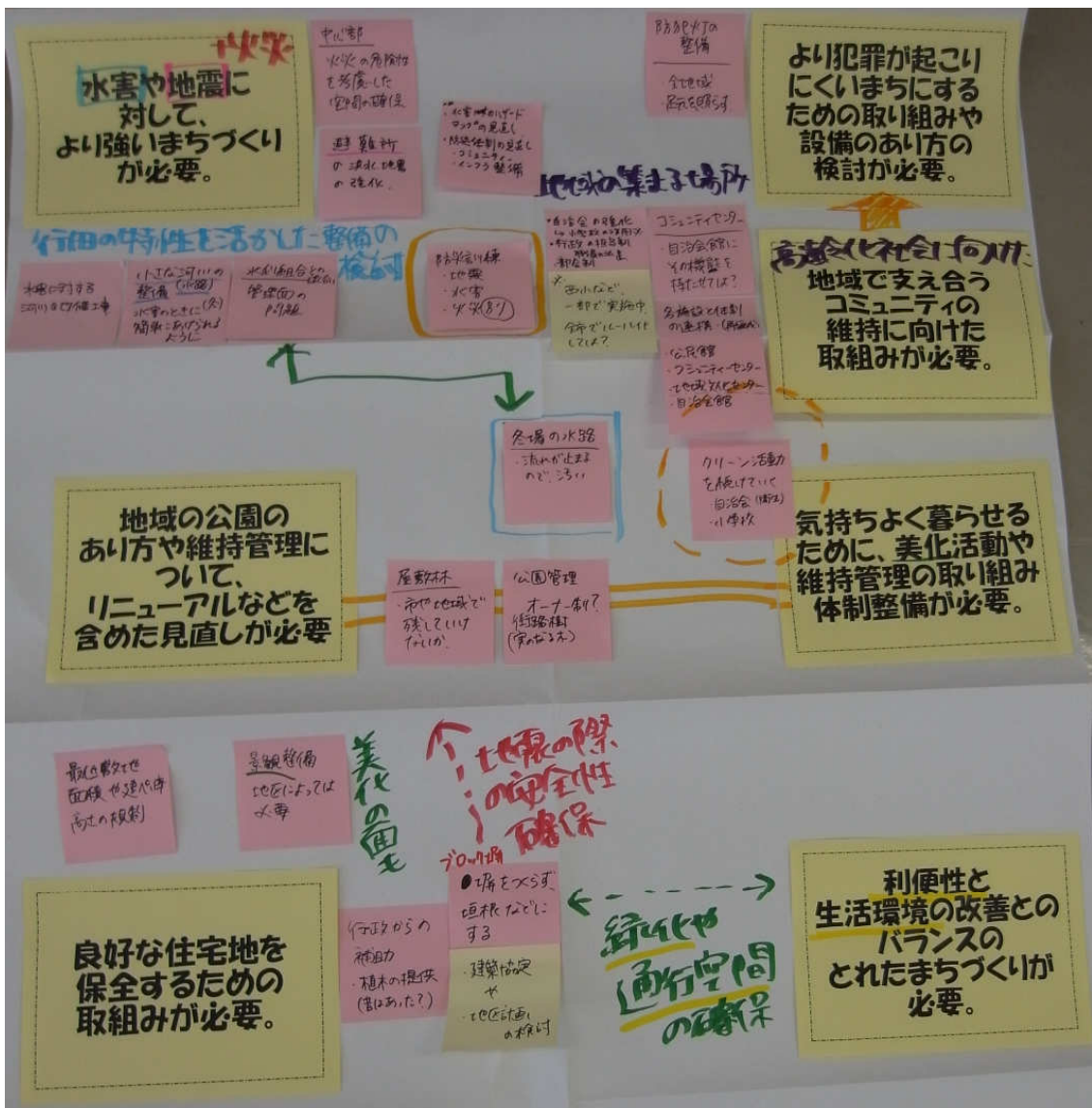
○住まいと暮らし(住環境・防災・防犯・コミュニティ)

分野	第1回市民まちづくり会議まとめ		第2回市民まちづくり会議まとめ		第2回市民まちづくり会議で出された意見	
	現状	課題	まちづくりの方向性	取り組みアイデア(方策)	見出し	ラベル
防災	○自然災害が比較的に少ない地理的条件である。 ○一方で、河川や用水が多く、水害のリスクがある。	<b>水害や地震、火災に対して、より強いまちづくりが必要。</b>	●災害に強いまちのあり方を検討する。 ●水害対策を充実させる。  ●市街地の延焼を防ぐための空間を確保する。 ●防災体制の見直しや災害時の体制強化を進める。	水害に備えるための河川改修 水害時に活用できる水路の整備  市街地におけるオープンスペースの確保 避難所の安全対策(施設の耐震化等)の強化 防災体制(コミュニティ・インフラ整備)の見直し 水害のハザードマップの見直し 地震・水害・火災別の防災訓練の実施	行田の特性を活かした整備の検討	水害に対する河川の改修工事 小さな河川(水路)の整備。水害の時に(冬)簡単に開けられるように。水利組合との話し合い。管理面の問題 中心部:火災の危険性を考慮した空間の確保 避難所:洪水、地盤の強化 防災体制の見直し(コミュニティ・インフラ整備) 水害のハザードマップの見直し 防災訓練(地震・水害・火災別)
生活環境	○地域によっては買い物や交通の利便性が低いところがある。 ○生活道路内への通過交通が増えると騒音などの問題が生じる。	<b>利便性と生活環境の改善とのバランスのとれたまちづくりが必要。</b>				
住環境	○建て替えに伴い、宅地の細分化等が進んでいる。	<b>良好な住宅地を保全するための取組みが必要。</b>	●良好な住環境を保全・維持するためのルールづくりを進める。  ●災害時に配慮した安全な住宅地をつくる。	建築協定や地区計画の整備推進  ブロック塀を生け垣にするなどのルールづくり 生け垣化に対する補助制度の整備	美化の面も  地震の際の安全性確保	最低敷地面積や建蔽率、高さの規制 景観整備:地区によっては必要 建築協定や地区計画の検討 緑化や通行空間の確保 ブロック塀を作らず、垣根などにする。 行政からの補助:植木の提供(昔はあった?)
緑公園	○地域の公園は、あまり使われていない。 ○地域の公園は、管理上の問題がある。	<b>地域の公園のあり方や維持管理について、リニューアルなどを含めた見直しが必要。</b>	●屋敷林などのまとまった緑を保全・推進する。 ●公園や街路樹の維持管理のあり方を見直す。	公園や街路樹のオーナー制の導入		屋敷林:市や地域に残していけないか 公園管理:オーナー制?街路樹(実のなる木)
美化	○公園の除草作業がきちんと行われている。 ○市有地の空地や緑道等の維持管理が十分にされていない。	<b>気持ちよく暮らせるために、美化活動や維持管理の取り組み、体制整備が必要。</b>	●地域が主体となったクリーン活動を継続する。	自治会や小学校におけるクリーン活動の継続		クリーン活動を続けて行く。 ・自治会(衛生)・小学校 冬場の水路:流れが止まるので汚い。
防犯	○市民による防犯パトロールが行われている。 ○防犯灯が明るすぎて、星空が見えなくなっている。	<b>より犯罪が起こりにくいまちにするための取り組みや設備のあり方の検討が必要。</b>	●防犯灯の整備・充実を図る。	全地域での防犯灯の整備  足元を照らすタイプの防犯灯の導入の検討	防犯灯の整備:・全地域・足元を照らす	
コミュニティ	○過疎化が進んでいる地区がある。	<b>高齢化に向けた、地域で支え合うコミュニティの維持に向けた取組みが必要。</b>	●地域で気軽に集まれる場所を整備・充実する。	コミュニティセンターの整備(自治会館の機能充実) 小学校の活用 既存施設の再編成(公民館、地域文化センター、自治会館)	地域の集まる場所	自治会の強化→小学校の活用  行政の担当制、職員の派遣 部会制  各施設と体制の連携(再編成) コミュニティセンター:自治会館にその機能を持たせては? 公民館・コミュニティセンター・地域文化センター・自治会館

第1回市民まちづくり会議まとめ



第2回市民まちづくり会議まとめ



○暮らしを支える(道路・公共交通・下水道・情報インフラ)

分野	第1回市民まちづくり会議まとめ		第2回市民まちづくり会議まとめ		第2回市民まちづくり会議で出された意見		
	現状	課題	まちづくりの方向性	取り組みアイデア(方策)	見出し	ラベル	
道路	○主要道路で、歩道が整備されていない箇所がある。 ○歩道に段差やスロープが多い、また、歩道の幅員が狭い。 ○歩行者と自転車が安心して利用できない。	<b>歩行者や自転車利用者が、気持ちよく安心して道路を利用できる道づくりが必要。</b>	●歩いて暮らせるまちづくりを推進する。	歩行者空間の確保  通行規制(一方通行等)による歩行者空間の充実  目的地を意識した、つながりのある歩道の整備 自転車専用道路(レーン)の整備  生活専用道路の区域指定	歩いて暮らせる「まちづくり」の推進	歩行者空間の確保(狭い道へのグリーン舗装) 車道整備より歩道整備を優先 歩道:お年寄り・子供→交通事故減少→健康増進(人が歩く→活気が出る) 「歩行者」「自転車」用の道しるべを作る。 ・路面表示・案内板・マンホールふたの活用 片側一車線道路を一方通行路にし、一方を「歩道」とする。 狭い道路は一方通行としてみなし舗道を表示する。 もつと一方通行道路を増やすべき(出来ることから) お金を掛けなくて出来る事から始める 現状の見直し(直に出る事を行う、歩道整備・一方通行のネットワーク) 「歩道」をつなげる「目的地」を意識した歩道づくり 自転車道(旧市街地) 自転車専用レーンを作り、歩行者の安全を確保する 産業道路と生活道路の色分け。生活専用道路の指定化。 歩道のバリアフリー化	
	○道路整備に伴い、歩行者が行き来しにくい箇所が生じ、地域が分断された。 ○道路アクセスの向上により既存市街地の買い物客減少した。	<b>道路整備に伴う周辺地域への配慮(地域分断、活性化対策)が必要。</b>	●歩きたくなる、人に優しいまちづくりを推進する。	歩道のバリアフリー化及びユニバーサルデザインによる歩道の整備  歩道幅員の拡幅  信号点滅時間の見直し		歩きたくなる、人に優しい「まちづくり」の推進	歩道のマウントアップを下げ、歩道ブロックで区分する。 新しい道路を作る時、歩道幅を「人にやさしい」意識した作り方を持つ。 歩道幅を広げる 街路樹の撤去をして歩道にし、舗装する 信号の点滅時間を歩行者の秒数を長く。(旧市街地)
	○高速道路へのアクセス利便性が十分でない。	<b>広域的な交通利便性を向上させるための道路計画が必要。</b>	●南北方向道路を充実させる。  ●案内板等の整備により利用者の利便性を向上させる。	南北方向道路の充実  利用者に伝わる道路案内板の工夫・見直し		道路ネットワークの確立より、PR、案内板などの整備による利便性の向上(南北方向の道路は一部必要)	南北方向道路の必要性 市全体の道路ネットワークは拡充されているのでは? ソフト(案内板など)施策を充実させるべき 高速道IC案内板に「行田」方面を入れる活動
	○道路や街路樹の整備・維持管理が十分にされていない箇所がある。	<b>道路や街路樹について、適切な維持管理が必要。</b>	●市民と一体となった「みちをまもる」ための仕組みづくりを進める。	道路照明灯の整備充実 街路樹や歩道の維持管理の仕組みづくり	市民と一体となった「みちをまもる」ための仕組みづくりの推進	照明(街路灯)をもっと整備する 街路樹、歩道清掃(美化)の仕組み作り	
公共交通	○市内循環バスは、観光利用しやすい設定がされている。 ○市内循環バスの利用度が低い。	<b>地域住民の利便性を高めるために、多くの人に利用されるバス運行のあり方の検討が必要。</b>	●地域住民の利便性を高めるバス路線ルートを見直す。  ●高齢者や観光客に配慮した循環バスのルート設定を検討する。	JR行田駅へのバス運行の強化 循環バスのルートの見直し  観光客向けルートの充実	①新しい公共交通体系を作る。 ②市民ニーズを踏まえて循環バスの充実。「公共施設、鉄道駅etc」	JR行田駅へのバス運行、通勤・通学者の利便向上。 循環バスの利便性向上、レーダーチャート路線→どこからでも市役所等に行ける。 お年寄りの為の循環バスルート  循環バスの利便性の向上の為に生活弱者が自分が望む場所にて乗降出来る制度 観光客のためのルート	
	○JR行田駅よりも吹上駅の方が、市民に多く利用されている。 ○秩父鉄道の本数が少ない。	<b>交流人口の増加に向けた鉄道利便性の向上が必要。</b>	●公共交通利用者のための駐車場を整備する。 ●鉄道事業者と市・市民との協力体制を築く。	鉄道・バス利用者ための駐車場整備 鉄道事業者と市および市民との意見交換機会の創出	公共交通の「駅」バス停等に付属する駐車場の確保 「秩父鉄道社」と「行田市」「行田市民」との意見交換会形式の会を持つ 公共交通機関としての役割をもっと自覚すべき		
インフラ	○上水道が使いやすい。 ○忍川や導水路では、生活排水の流入や冬期間の水流減のために、臭うことがある。 ○都市ガスが利用出来ない。	<b>地域住民が快適に暮らせるための上下水道や都市ガスの整備・充実が必要。</b>	●河川環境を保全する。  ●上水道施設の耐震化を推進する。  ●下水道整備を推進し、下水道普及率を向上させる。  ●都市ガス網の充実を図る。	河川改修、整備の推進 濁水期通水による河川の浄化  上水道施設の耐震化  下水道普及率・水洗化率の向上  都市ガス網充実に向けた事業者への働きかけ	河川環境の保全と下水道普及を推進	河川の整備 河川の管路化と改良 上水道の水源地を深井戸・河川から河川利用にする 上水道施設の耐震化 施設の耐震化 上水道の原水を河川に転換し、耐震化を図る 下水道整備の推進。特に「忍川」接近地域 下水道普及率目標値を高くする。(設備完了地区の下水道利用率を上げる必要もある) 都市ガス網、充実の為に東京ガスに普及努力を強力に要請する。 市民参加は世代を超えて	
	○市民の意見を踏まえたまちづくりを進めたい。	<b>市民の意見を踏まえたまちづくりを進めるための体制や仕組みづくりが必要。</b>	●市民参加を広げるためのPRを行う。  ●市民活動グループと連携したまちづくりを進める。	広報誌等を活用した、幅広い世代への市民参加の意識向上 自治会・企業等へのPRと協力依頼 市民活動グループとの連携		「防災行田」「市報」の利用でPR 自治会、工業団地等の企業へのPRや協力を依頼する。 市民大学のグループ活動と、まちづくりとの連携による改善、スピードアップ。	

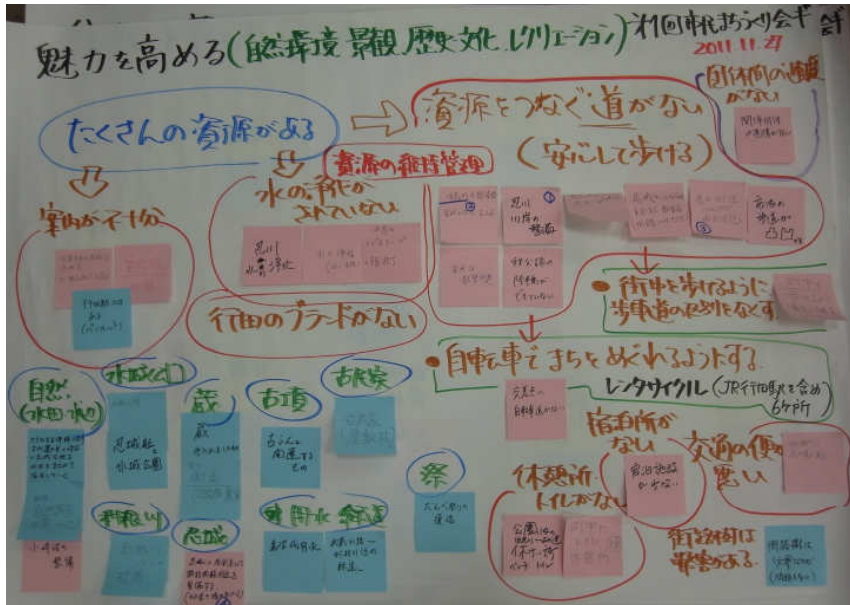


まちづくりの方向性の整理

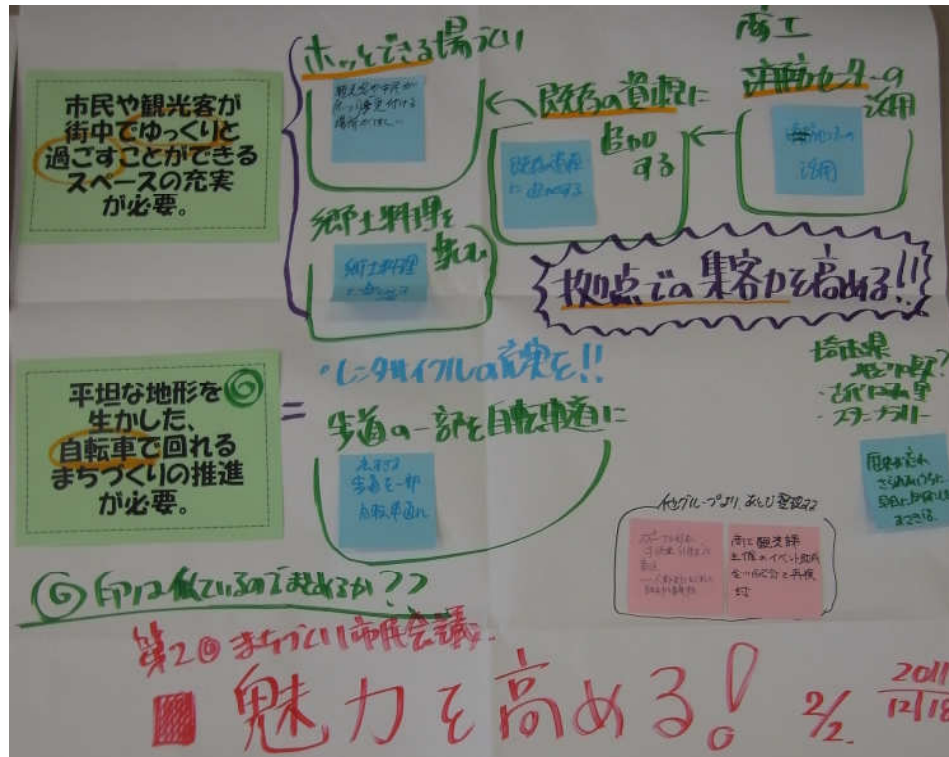
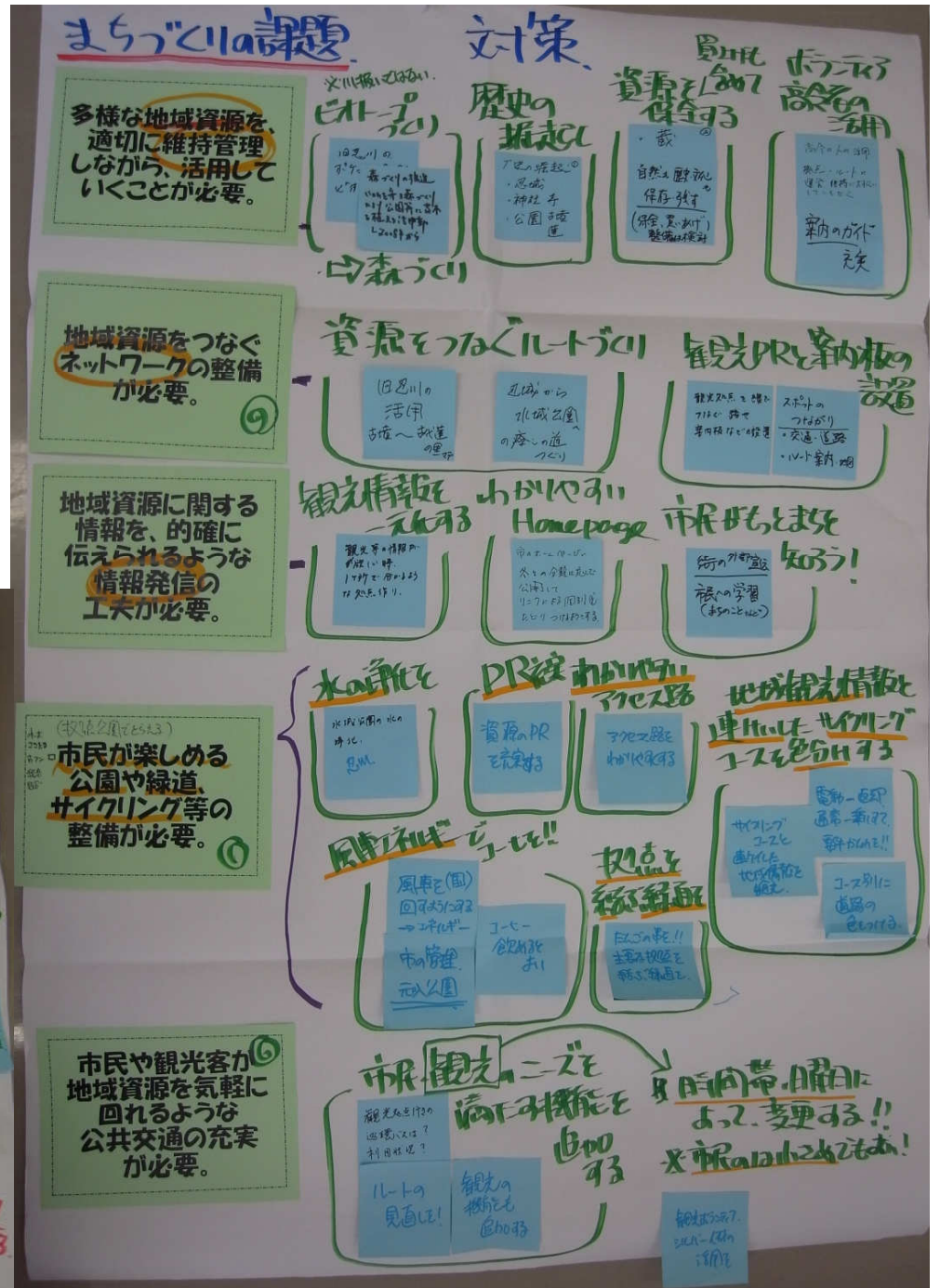
○魅力を高める(自然環境、景観、歴史・文化、レクリエーション)

分野	第1回市民まちづくり会議まとめ		第2回市民まちづくり会議まとめ		第2回市民まちづくり会議で出された意見		
	現状	課題	まちづくりの方向性	取り組みアイデア(方策)	見出し	ラベル	
地域資源	○自然の風景から歴史的な資源まで、様々な地域資源が点在している。 ○一部には、維持管理や整備が必要な地域資源がある。	<b>多様な地域資源を、適切に維持管理しながら、活用していくことが必要。</b>	●自然環境を保全・活用する。	ビオトープの整備 公園等に苗木を植えることによる森づくりの推進	旧忍川のポケットパークのビオトープ →森づくり 森づくりの推進:命を守る森づくりにより公園等に苗木を植える活動(2008年から) 歴史の掘り起こし(忍城・神社・寺・公園・古墳・運) 歴史が忘れ去られないうちに…。早めに掘り起こしを(小崎沼) 埼玉真みどりの駅?(・古代はずの里・スタンブラリー) 蔵 自然も歴史・文化も保存、残す。(保全、買い上げ)整備は検討 高齢者の活用(拠点・ルートに運営、維持にお手伝いしていただく) 案内のガイド充実	歴史の掘り起こし	
			●歴史資源を掘り起こし、保全する。	歴史資源の掘り起こし			
			●地域資源の保全手法を検討する。	買い上げを含めた保全・活用方法の整備			資源を買い上げも含めて保全する
			●維持管理や活用にあたって、ボランティアを活用する。	ボランティアによる地域資源の維持管理の仕組みづくり			ボランティア高齢者の活用
道路	○点在している地域資源を歩いて楽しめる散策道がない。	<b>地域資源をつなぐネットワークの整備が必要。</b>	●地域資源をつなぐルートを設定する。	地域資源をつなぐルートの設定	旧忍川の活用(古墳～古代運の里まで) 忍川から水城公園への癒しの道づくり	資源をつなぐルートづくり	
			●地域資源の案内板を充実させる。	地域資源をつなぐルートへの案内板の設置			観光PRと案内板の設置
			●自転車で回れるまちづくりに向けた環境整備を進める。	自転車道の整備 利用しやすいレンタサイクルの充実			PRの充実 歩道の一部を自転車道に。レンタサイクルの充実を!
公共交通	○観光資源を利用するための公共交通が整備されていない。	<b>市民や観光客が地域資源を気軽に回れるような公共交通の充実が必要。</b>	●観光客にとって利用しやすい交通手段を整備する。	地域資源(観光拠点)をまわる循環バスの充実 利用状況に応じた市内循環バス運行	旧忍川の活用(古墳～古代運の里まで) 忍川から水城公園への癒しの道づくり	市民・観光のニーズを満たす機能を追加する	
			●市民が楽しめる公園や緑道、サイクリングコース等の整備が必要。	●公園・緑道等を気持ちよく利用出来るように維持管理する。 ●資源(拠点)を結び、アクセスをわかりやすくする。 ●市民が身近でスポーツに親しめる環境を整える。			水城公園や忍川等の水質の浄化 主要な拠点を結ぶ緑道の整備 地域資源と連動したサイクリングコースの整備 身近なスポーツ施設の充実
レクリエーション	○人が集まり、楽しめる魅力的な公園、広場、緑道等が少ない。	<b>市民や観光客が街中でゆっくりと過ごすことができるスペースの充実が必要。</b>	●市民や観光客がホットできる場を整備する。	休憩スペースの確保	観光拠点行きの循環バスは?利用状況? ルートの見直しを! 観光の機能も追加する 時間帯、曜日によって変更する!※市民のバスは小さめでも良い。	観光拠点行きの循環バスは?利用状況? ルートの見直しを! 観光の機能も追加する 時間帯、曜日によって変更する!※市民のバスは小さめでも良い。	
			●行田らしさを生かしたおもてなしができる環境を整える。	郷土料理を提供する場の整備 風車エネルギーをいかした喫茶スペース等の創出の検討			ホット出来る場づくり 既存の資源に追加する 商工センターの活用 郷土料理を楽しむ 風車エネルギーでコーヒーを!
情報発信	○地域資源の場所や地域資源に関する情報を伝える手段が充実していない。	<b>地域資源に関する情報が、必要としている人に的確に伝えられるような情報発信の工夫が必要。</b>	●情報発信の体制づくりや既存の発信手法を見直し、改善する。	観光情報の一元化 ホームページのわかりやすさと利便性の向上	観光情報一元化 観光等の情報が欲しい時、一箇所で分かるような拠点作り 市のホームページに各々の分類に応じ公開してリンクによる個別サイトへたどりつけるようにする。	観光情報一元化する わかりやすいホームページ 市民がもっと、街を知ろう!	
			●市民一人ひとりが、行田市の宣伝ができるようになる。	市民がまちについて学ぶ機会の充実ができるようになる。			市民がもっと、街を知ろう! 街の外部宣伝 市民の学習(まちのことなど)

第1回市民まちづくり会議まとめ



第2回市民まちづくり会議まとめ

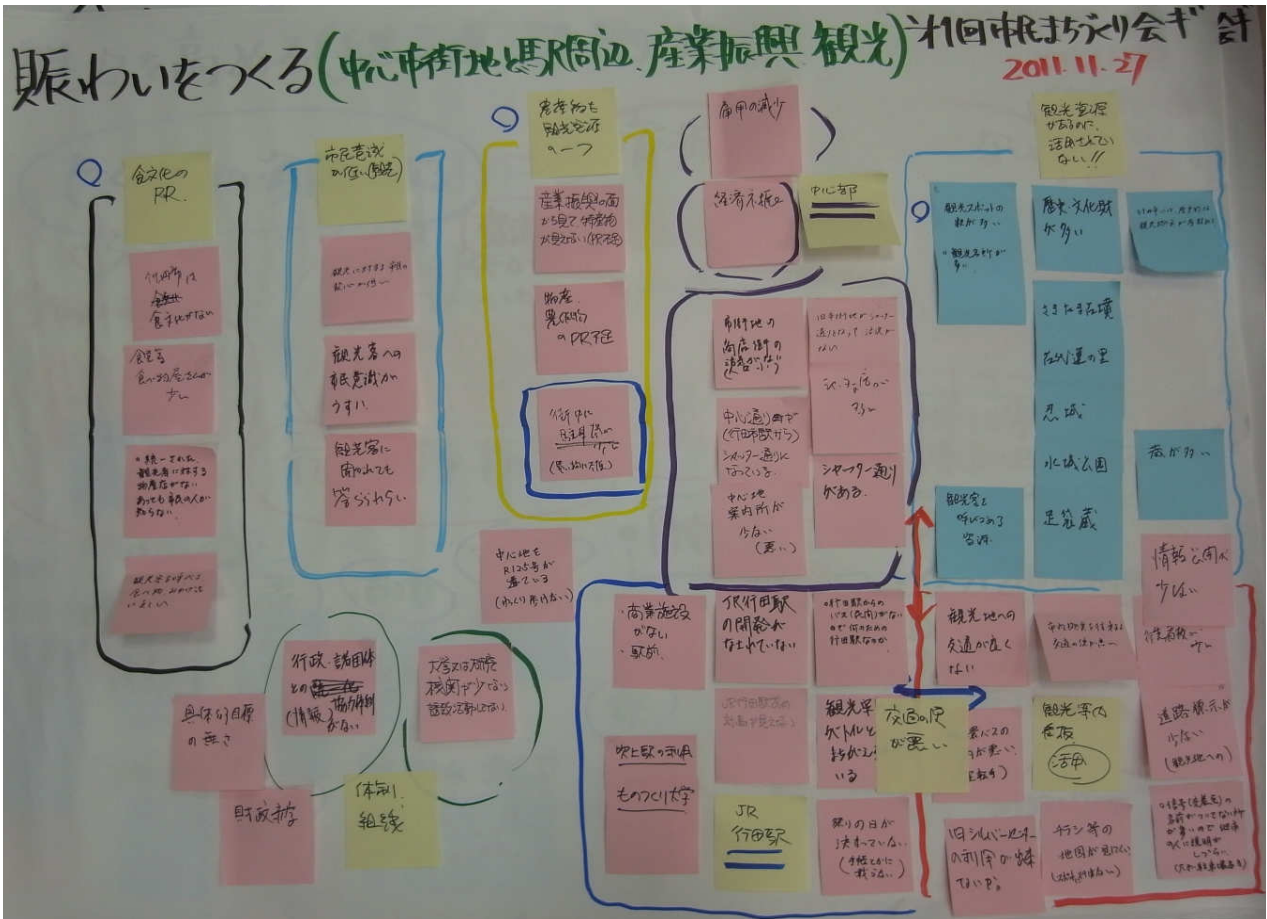


第2回市民まちづくり会議  
魅力を高める!! 2/2 2011/12/18

○賑わいをつくる(中心市街地と駅周辺、産業振興、観光)

分野	第1回市民まちづくり会議まとめ		第2回市民まちづくり会議まとめ		第2回市民まちづくり会議で出された意見			
	現状	課題	まちづくりの方向性	取り組みアイデア(方策)	見出し	ラベル		
中心部	○市街地の商店街の活気がなくなっている。(シャッター通りになっている。) ○商店街の衰退により、雇用の減少、経済不振などの影響がある。	● <b>市中心部の位置づけやあり方についての検討が必要。</b>	●歩いて暮らせる、高齢者にやさしいまちをつくる。					
		↑ 関連 ↓	●高齢者にやさしい商店街など、商店街の差別化による活性化を図る。	●商店街の個性化、差別化の推進 ●高齢者向けサービスの充実 ●市内ウォーキングによる商店街の活性化	●商店街の再編・集約を図る。	●人が集まる場所を創出する。	●商店街のPRを推進する。	●商店街のPRを推進する。
		● <b>市街地の商店街のシャッター通りを解消し、活気や賑わいと取り戻すための取組みが必要。</b>	●個別計画に基づき、戦略的に開発を推進する。	●人口流出に歯止めをかけるための施策を充実する。	●商店街の再編・集約を図る。 ●人が集まる場所を創出する。 ●商店街のPRを推進する。	●商店街の再編・集約 ●人が集まる場所を作る ●商店街のPR	●商店街の再編・集約 ●人が集まる場所を作る ●商店街のPR	●商店街の差別化を図る様にしたら、高齢者⇄商店街が利用しやすい ●高齢者の荷物を運ぶサービス「御用聞き」スタイル ●市内商店街だけの活性化:人の流れがないから、土日毎に市内ウォーキングの企画を行う。 ●空き店舗:地権者にどいてもらう。(専門店のゾーン) ●逆に来てもらう。やりたい人に集約する。 ●借地のままで活用する ●繁華街を作る ●大店舗で商店街は駄目になる ●観光物産店を設ける ●体験できる(藍染、勾玉作り)などのPRも ●JRタイアップ 案内不足
		↑ 関連 ↓	●市街地の商店街のシャッター通りを解消し、活気や賑わいと取り戻すための取組みが必要。	●個別計画に基づき、戦略的に開発を推進する。 ●人口流出に歯止めをかけるための施策を充実する。	●商店街の再編・集約を図る。 ●人が集まる場所を創出する。 ●商店街のPRを推進する。	●商店街の再編・集約 ●人が集まる場所を作る ●商店街のPR	●商店街の差別化を図る様にしたら、高齢者⇄商店街が利用しやすい ●高齢者の荷物を運ぶサービス「御用聞き」スタイル ●市内商店街だけの活性化:人の流れがないから、土日毎に市内ウォーキングの企画を行う。 ●空き店舗:地権者にどいてもらう。(専門店のゾーン) ●逆に来てもらう。やりたい人に集約する。 ●借地のままで活用する ●繁華街を作る ●大店舗で商店街は駄目になる ●観光物産店を設ける ●体験できる(藍染、勾玉作り)などのPRも ●JRタイアップ 案内不足	
JR行田駅	○JR行田駅周辺の開発がされおらず、商業施設などの集積が見られない。 ○JR行田駅へのアクセスが悪く、利用しにくい。	● <b>JR行田駅周辺の開発推進による拠点づくりが必要。</b>	●個別計画に基づき、戦略的に開発を推進する。	●人口流出に歯止めをかけるための施策を充実する。	●市街地の商店街のシャッター通りを解消し、活気や賑わいと取り戻すための取組みが必要。	●市街地の商店街のシャッター通りを解消し、活気や賑わいと取り戻すための取組みが必要。	●市街地の商店街のシャッター通りを解消し、活気や賑わいと取り戻すための取組みが必要。	●市街地の商店街のシャッター通りを解消し、活気や賑わいと取り戻すための取組みが必要。
		↑ 関連 ↓	●市街地の商店街のシャッター通りを解消し、活気や賑わいと取り戻すための取組みが必要。	●個別計画に基づき、戦略的に開発を推進する。 ●人口流出に歯止めをかけるための施策を充実する。	●市街地の商店街のシャッター通りを解消し、活気や賑わいと取り戻すための取組みが必要。	●市街地の商店街のシャッター通りを解消し、活気や賑わいと取り戻すための取組みが必要。	●市街地の商店街のシャッター通りを解消し、活気や賑わいと取り戻すための取組みが必要。	●市街地の商店街のシャッター通りを解消し、活気や賑わいと取り戻すための取組みが必要。
		● <b>市内からJR行田駅へのアクセスの改善が必要。</b>	●市街地の商店街のシャッター通りを解消し、活気や賑わいと取り戻すための取組みが必要。	●個別計画に基づき、戦略的に開発を推進する。 ●人口流出に歯止めをかけるための施策を充実する。	●市街地の商店街のシャッター通りを解消し、活気や賑わいと取り戻すための取組みが必要。	●市街地の商店街のシャッター通りを解消し、活気や賑わいと取り戻すための取組みが必要。	●市街地の商店街のシャッター通りを解消し、活気や賑わいと取り戻すための取組みが必要。	●市街地の商店街のシャッター通りを解消し、活気や賑わいと取り戻すための取組みが必要。
観光	○たくさんの観光資源があるが、活用されていない。 ○行田ならではの食べ物や特産物がない。 ○首都圏を消費地に抱えており、農業は貴重な産業の一つとなっている。 ○行田市の農業に関するPRが少ない。 ○観光客が訪れたときに利用できる飲食店や駐車場、宿泊施設等が少ない。 ○観光客に対して観光に関する情報が伝わっていない。	● <b>多様な観光資源の活用や行田ブランドの創出など、多くの人が訪れるまちにするための取組みが必要。</b>	●観光客の視点から、観光施策を見直し、必要な取組みを講じる。	●行田ブランドを創出する。	●観光客が訪れたときに利用できる飲食店や駐車場、宿泊施設等が少ない。 ○観光客に対して観光に関する情報が伝わっていない。	●観光客が訪れたときに利用できる飲食店や駐車場、宿泊施設等が少ない。 ○観光客に対して観光に関する情報が伝わっていない。	●観光客が訪れたときに利用できる飲食店や駐車場、宿泊施設等が少ない。 ○観光客に対して観光に関する情報が伝わっていない。	
		↑ 関連 ↓	●多様な観光資源の活用や行田ブランドの創出など、多くの人が訪れるまちにするための取組みが必要。	●観光客の視点から、観光施策を見直し、必要な取組みを講じる。 ●行田ブランドを創出する。	●観光客が訪れたときに利用できる飲食店や駐車場、宿泊施設等が少ない。 ○観光客に対して観光に関する情報が伝わっていない。	●観光客が訪れたときに利用できる飲食店や駐車場、宿泊施設等が少ない。 ○観光客に対して観光に関する情報が伝わっていない。	●観光客が訪れたときに利用できる飲食店や駐車場、宿泊施設等が少ない。 ○観光客に対して観光に関する情報が伝わっていない。	
		● <b>農業や農産物を産業振興だけでなく、観光資源として活用していくことが必要。</b>	●観光客の視点から、観光施策を見直し、必要な取組みを講じる。 ●行田ブランドを創出する。	●観光客が訪れたときに利用できる飲食店や駐車場、宿泊施設等が少ない。 ○観光客に対して観光に関する情報が伝わっていない。	●観光客が訪れたときに利用できる飲食店や駐車場、宿泊施設等が少ない。 ○観光客に対して観光に関する情報が伝わっていない。	●観光客が訪れたときに利用できる飲食店や駐車場、宿泊施設等が少ない。 ○観光客に対して観光に関する情報が伝わっていない。	●観光客が訪れたときに利用できる飲食店や駐車場、宿泊施設等が少ない。 ○観光客に対して観光に関する情報が伝わっていない。	
		● <b>観光客が行田市をゆっくり楽しむことができるような、環境整備が必要。</b>	●観光客の視点から、観光施策を見直し、必要な取組みを講じる。 ●行田ブランドを創出する。	●観光客が訪れたときに利用できる飲食店や駐車場、宿泊施設等が少ない。 ○観光客に対して観光に関する情報が伝わっていない。	●観光客が訪れたときに利用できる飲食店や駐車場、宿泊施設等が少ない。 ○観光客に対して観光に関する情報が伝わっていない。	●観光客が訪れたときに利用できる飲食店や駐車場、宿泊施設等が少ない。 ○観光客に対して観光に関する情報が伝わっていない。	●観光客が訪れたときに利用できる飲食店や駐車場、宿泊施設等が少ない。 ○観光客に対して観光に関する情報が伝わっていない。	
推進体制	○行政や関係組織が情報を共有していない。 ○今後も厳しい財政状況が続く見込みとなっている。	● <b>行政や関係機関が連携して、活気あるまちづくりへの取り組みを進めることが必要。</b>	●自転車でもまれるまちづくりを進める。	●観光客が利用しやすいタクシー制度を整備する。 ●観光客が訪れたくなる施設・環境を整備する。	●行政や関係組織が情報を共有していない。 ○今後も厳しい財政状況が続く見込みとなっている。	●行政や関係組織が情報を共有していない。 ○今後も厳しい財政状況が続く見込みとなっている。	●行政や関係組織が情報を共有していない。 ○今後も厳しい財政状況が続く見込みとなっている。	
		↑ 関連 ↓	●行政や関係機関が連携して、活気あるまちづくりへの取り組みを進めることが必要。	●自転車でもまれるまちづくりを進める。 ●観光客が利用しやすいタクシー制度を整備する。 ●観光客が訪れたくなる施設・環境を整備する。	●行政や関係組織が情報を共有していない。 ○今後も厳しい財政状況が続く見込みとなっている。	●行政や関係組織が情報を共有していない。 ○今後も厳しい財政状況が続く見込みとなっている。	●行政や関係組織が情報を共有していない。 ○今後も厳しい財政状況が続く見込みとなっている。	
		● <b>観光客に分かりやすい案内やガイドを充実させる。</b>	●自転車でもまれるまちづくりを進める。 ●観光客が利用しやすいタクシー制度を整備する。 ●観光客が訪れたくなる施設・環境を整備する。	●観光客が訪れたときに利用できる飲食店や駐車場、宿泊施設等が少ない。 ○観光客に対して観光に関する情報が伝わっていない。	●観光客が訪れたときに利用できる飲食店や駐車場、宿泊施設等が少ない。 ○観光客に対して観光に関する情報が伝わっていない。	●観光客が訪れたときに利用できる飲食店や駐車場、宿泊施設等が少ない。 ○観光客に対して観光に関する情報が伝わっていない。	●観光客が訪れたときに利用できる飲食店や駐車場、宿泊施設等が少ない。 ○観光客に対して観光に関する情報が伝わっていない。	
		● <b>観光に関するPRを強化する。</b>	●自転車でもまれるまちづくりを進める。 ●観光客が利用しやすいタクシー制度を整備する。 ●観光客が訪れたくなる施設・環境を整備する。	●観光客が訪れたときに利用できる飲食店や駐車場、宿泊施設等が少ない。 ○観光客に対して観光に関する情報が伝わっていない。	●観光客が訪れたときに利用できる飲食店や駐車場、宿泊施設等が少ない。 ○観光客に対して観光に関する情報が伝わっていない。	●観光客が訪れたときに利用できる飲食店や駐車場、宿泊施設等が少ない。 ○観光客に対して観光に関する情報が伝わっていない。	●観光客が訪れたときに利用できる飲食店や駐車場、宿泊施設等が少ない。 ○観光客に対して観光に関する情報が伝わっていない。	
観光に対する市民意識	○観光に対する市民の関心が低い。 ○観光客に聞かれたときに答えられない人が多い。	● <b>市民一人ひとりが、観光客を迎えるおもてなし意識を持ち、市全体で観光まちづくりに取り組むことが必要。</b>	●小中学生に行田の魅力や、愛着を育てていく。	●観光客が訪れたときに利用できる飲食店や駐車場、宿泊施設等が少ない。 ○観光客に対して観光に関する情報が伝わっていない。	●観光に対する市民の関心が低い。 ○観光客に聞かれたときに答えられない人が多い。	●観光に対する市民の関心が低い。 ○観光客に聞かれたときに答えられない人が多い。	●観光に対する市民の関心が低い。 ○観光客に聞かれたときに答えられない人が多い。	
		● <b>観光に関するPRを強化する。</b>	●小中学生に行田の魅力や、愛着を育てていく。	●観光客が訪れたときに利用できる飲食店や駐車場、宿泊施設等が少ない。 ○観光客に対して観光に関する情報が伝わっていない。	●観光に対する市民の関心が低い。 ○観光客に聞かれたときに答えられない人が多い。	●観光に対する市民の関心が低い。 ○観光客に聞かれたときに答えられない人が多い。		

第1回市民まちづくり会議まとめ



第2回市民まちづくり会議まとめ



市民一人ひとりが、観光客を迎えるおもてなし意識を持ち、市全体で観光まちづくりに取り組むことが必要。

農業や農産物を産業振興だけでなく、観光資源として活用していくことが必要。

行政や関係機関が連携して、活気あるまちづくりへの取り組みを進めることが必要。